

# 美浦村 UMA フェスタ

「競走馬の里 美浦」を象徴する「馬」…その魅力を丸ごと楽しむイベント「美浦村UMAフェスタ」が、9月23日に開催されました。イベントは、光と風の丘公園、みほふれ愛プラザ、JRA美浦トレーニング・センターの3会場で行われ、全国各地から延べ7,000名の来場がありました。

当日、「競走馬の里」をモチーフに、メインイベントの村制施行70周年記念レース「J C (縄文カップ)」をはじめ、各種体験型プログラム、JRA騎手や調教師によるトークショー等、多くのイベントが行われました。

## 各地の人気者が参戦！ゆるキャラレース「J C (縄文カップ)」



中島村長によるスターター



美浦中学校によるファンファーレ



スタート！



みほ一す  
(美浦村)

とねりん  
(利根町)

あみっぺ  
(阿見町)

ひめ丸くん  
(茨城市)

とみちゃん  
(千葉県富里市)

こじゅまる  
(守谷市)

かわち丸  
(河内町)

まいりゅう  
(龍ヶ崎市)

たまちゃん  
(福島県大玉村)

ターフィー  
(JRA)



「まいりゅう」先頭！



大外から「ターフィー」



着順 まいりゅう、ターフィー、みほ一す



個性豊かなゴール



諦めかけた「とねりん」も励まされて完走



ラジオ NIKKEI 小塚アナウンサーによる自熱のレース実況！



優勝カップを手にする「まいりゅう」



どんぐりクッキーの食べ過ぎで、惜しくも3着となりました…。

J Cを制した「まいりゅう」は、龍ヶ崎市の伝統芸能「撞舞(つくまい)」の舞男(まいおとこ)に憧れるだけに、身軽さを活かした怒涛の追い込みでした。JRAから参戦「ターフィー」は、さすが名馬の血を引くエリート、日頃のトレーニングで身につけた美しく力強い走りを見せ、堂々の2着！

また、他の参戦者も負けず劣らず、独自の走法を披露し会場を沸かしました。

## 光と風の丘公園エリア

(※イベント一部を紹介)



サラブレッドふれあい



ポニーショー



ポニー流騎馬



J C本馬場入場の誘導馬「ラファル」



美浦村公認地域クラブ  
「美浦ホースクラブ」出店

### 【美浦ホースクラブ広報部より】

美浦ホースクラブでは、乗馬だけでなく厩舎作業や馬のお手入れ、馬耕に餌作りやトレセン関係者との交流等を行なっています。今回はメンバーが作ったオーナメントを販売しました。またクラブの「ラファル」はポニー流騎馬やジャンプレースに参加し、J Cの誘導馬も頑張りました。



「コジウ軍団」コジウチョウサン



ポニーレース



ウマ娘パネル展示

## みほふれ愛プラザエリア、他

(※敬称略) (※イベント一部を紹介)



ジョッキートークショー (JRA 騎手)  
(左から)遠藤汰月、菊沢一樹、木幡巧也



ジョッキートークショー (JRA 騎手)  
(左から)上里直汰、津村明秀、戸崎圭太



引退馬トークセッション  
(左から)TCC Japan 代表 山本高之、  
美浦ホースクラブ 代表 阿部彩希、  
JRA 騎手 北村宏司



ジョッキーに教えてもらおう！  
乗馬練習用ホース体験



自分で描いた馬が3Dでレース  
Your HERO's DERBY



馬運車の展示・内部公開



尾花龍一個展



イクイノックス関連展示



ジョッキーと一緒に巡る！  
陸平貝塚文化財センター＆  
旧鹿島海軍航空隊跡バスツアー

## JRA 美浦トレーニング・センターエリア (※イベント一部を紹介)



ノリさんを囲む会～横山典弘騎手がファンからの質問に答えます～



地方競馬予想会 (左から) 江田照男騎手、西田雄一郎調教師、大竹正博調教師、スポーツ小田哲也記者、田中勝春調教師



師弟トークショー  
青木孝文調教師&原優介騎手



乗馬苑馬房見学



装蹄実演



体験乗馬



会見ボードをバックに勝負服で記念撮影

JRA美浦トレーニング・センターでは、厚生会館分館、ターフプラザ、乗馬苑にてイベントが開催され、今回紹介した写真の他にも、鈴木伸尋調教師による競馬のお仕事紹介や、普段見る事のできない坂路やゲート等を見学できるトレセン見学ツアーが行われました。

青木孝文調教師と原優介騎手の師弟トークショーでは、来場していた小松山元調教師が急遽登壇。また、地方競馬予想会でも、客席にいた西田雄一郎調教師や江田照男騎手、大竹正博調教師も登壇し、大いに盛り上がりしました。

## 地域おこし協力隊・南川麻綾さん イベントへ向けた想い



今回の「美浦村UMAフェスタ」は、地域おこし協力隊・南川麻綾さんにより、10月で任期終了となる卒業イベントとして企画されました。南川さんのイベントへ向けた想いを以下ご紹介します。

2013年から3年間、仕事で毎週通った「美浦トレーニング・センター」。2022年から3年間、村民として住んでいる「美浦村」。

合計6年間関わってきた美浦村は私にとって特別な場所となりました。そしてこの期間で私が気づいたのは、トレセンの人は美浦村の歴史や文化を知らず、美浦村の人は「競走馬の里」と言われているのに馬に関わる機会が少ないという事。すごく勿体無いと思い、住んでいる人にもっと美浦村を、馬を、知ってもらいたいと感じました。

ご縁がありトレセンと美浦村、どちらのコミュニティにも属していた私。おこがましいかもしれませんが、そんな私だからこそ何か橋渡しになるような事ができたらと思い、今回のイベントを企画しました。そしてもちろん、大好きな美浦村を「多くの人に知ってもらいたい」という事も本心。

私が思う美浦村の魅力は「人」です。人の優しさ、あたたかさ、私は何度も美浦村の素晴らしい人たちの心に触れて来ました。

美浦村とトレセン、そして村外から来るお客さまが繋がり、大きな輪となるよう希望を持って活動しております。

また、今回の「美浦村UMAフェスタ」を開催するにあたり、本当に多くの方にご協力頂きました。

私の地域おこし協力隊の任期は10月までとなりますが、今回の「美浦村UMAフェスタ」をきっかけに、村内外問わず、美浦村を好きになってくれる人がひとりでも多く増えていたら嬉しいです。